

真下 紀子

困難のりこえ、ともに生きる

はつらつ道政レポートNO.398 2025.7.6 発行:真下紀子事務所

- ◇ 11日：最低賃金引き上げを北海道労働局に要請
- ◇ 第32期後期道議会議長・副議長決定
- ◇ 議員団・議会構成決定
- ◇ 3日：環境生活委員会で質問
- ◇ 25日：一般質問（11分）

最低賃金上げよう！支援策実施を知事に迫る

11日、日本共産党の真下紀子議員と丸山はるみ議員は北海道労働局に対し、①最低賃金を直ちに1,500円に、②地方別から全国一律の格差なくす制度へ、③中小企業支援と合わせた対策を求め、要請書を提出しました。

真下議員は、「成長なくして賃上げなし」という時代から、経済界も「賃上げは成長戦略の要」と言うように大きく変化していると紹介。最低賃金引き上げが暮らし支える様々な制度に波及する役割を強調しました。また、補完的な仕事としてではなく、主たる生計維持者が最低賃金で働かざるを得ない現状だと訴え、最低生計費を賄う水準として、まずは時給1,500円の実現に尽力を求めました。

多くの都府県では、賃金引き上げのためになんらかの支援事業を展開し、昨年は直接知事が地方最低賃金審議会に引き上げを要請した県もありました。



ところが、厚生労働省がホームページで公開している都道府県別賃金引き上げ支援施策の一覧に、北海道は全く支援なしとなっています。鈴木道政の政治姿勢がここでもくっきりと表れています。

真下議員は、25日の一般質問で、最低賃金が果たす役割に対する知事の考えをただし、賃金を引き上げられるよう、支援の実現を迫りました。

真下議員「経済」「子ども政策」委員会

第2回定例道議会が6/17～7/4までの日程で開会し、後期の議員団構成と議会人事が決定しました。

日本共産党議員団は、引き続き団長に真下議員、幹事長に丸山はるみ議員。真下議員が議会ICTを担当し、丸山議員は、議会運営・広報と政策審議を担当します。所属委員会は以下の表のとおりに決定しました。

議長には9期目の伊藤条一氏（自民党・道民会議）、副議長は梶谷大志氏（民主・道民連合）を選出。伊藤氏は過去26年にわたって議会質問をしていません。共産党道議団は、少数意見を尊重し公正な議会運営を行うこと、議会基本条例に基づく議会運営を行うよう要請しました。

	常任委員会	特別委員会
真下議員	経済委員会	子ども政策
丸山議員	保健福祉委員会	人口減少・地方分権改革

原発維持と安全対策に1兆円超

真下議員は25日、鈴木直道知事、中島俊明教育長に質問しました。泊原発の維持・安全対策費が1兆円を超えていること、消費税減税に対する見解、物価高騰対策がないこと、最低賃金引き上げに対する道の支援、物価高騰が続く中で宿泊税を増税する理由と宿泊税条例制定手続きの妥当性等を追求しました

私立学校の生理用品設置状況と生理や月経前症候群の理解促進、北海道遺産認定建築物の保存などについても質問。通告した11分で、知事の政治姿勢をただし、道民要望の実現を求めました。

（詳細は次号に掲載します）

エゾシカ駆除後の適正処理、ハンターの処遇改善求める



真下紀子議員は、今年3月に当麻町の山林にエゾシカの残滓が放置されていた問題を質問。6月3日の環境生活委員会で適切な処理とハンターの処遇改善を求めました。

鳥獣保護管理法では、エゾシカなど捕獲した鳥獣の放置を禁止し、持ち帰りが原則です。違反した場合、狩猟免許の取り消しや罰金の罰則が科せられます。真下議員は、今年3月下旬に上川総合振興局や当麻町、旭川東警察署に通報されたエゾシカの残滓の放置について経緯とこれまでの放置事例を質問しました。

環境生活部の答弁で、エゾシカ残滓の不適切処理は22年度11件、23年度13件、24年度14件確認したものの、行為者が特定できず行政処分に至っていないこと、鳥獣被害防止総合対策交付金を活用した捕獲でも不適切な残滓処理など違法が確認された場合に行う道と国との協議も、過去3年間はないことがわかりました。

真下議員は、駆除後認証処理場まで運搬し、不適切な処理はないという旭川猟友会会員の声を紹介。残滓はヒグマの餌となり、生態系のかく乱や人身被害につながるとのべ、責任ある残滓処理が必要と強調。行政がハンターに協力を求める実施隊は、非常勤公務員として処遇されていますが、旭川市は日当

3990円にとどまっています。ガソリン代の他、銃弾は1発1,100円。真下議員は処理施設までの搬入を求めるには処遇が不十分と指摘し改善を求めました。谷内浩史環境生活部長は「パトロールや直接指導を着実に進め、残滓の適切な処理が行われるようとりくむ」と応じました。

私立学校にも生理用品設置 道立学校好評「ためらいなく使える」



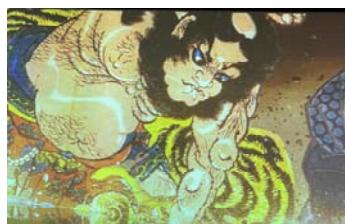
真下道議は、6月25日の一般質問で、全道の私立学校の生理用品設置状況について質問しました。

道は質問に先立って調査し、47校のうちすでに46校に生理用品が設置され、残り1校も設置に向け準備中だと明らかにしました。すでに生理用品を設置した道立学校に道教委が、聞き取り調査を行い、生徒からは「緊急の時に安心できる」「ためらいなく使える」と回答したと答え、好評です。

文科省は5月に「月経と月経前症候群（PMS）の理解を促進する」通知を発出。道教委と私学所管部に有効な活用を求めました。二次元コード含め周知・活用すめると答弁を受けました。



「歌川国芳」展



道立近代美術館で、江戸時代の浮世絵作家で、奇想天外なアイデアと卓越した画力で知られる「歌川国芳」展が開催され、多くの来場者を魅了しました。

道議会・道政へのご意見・ご要望をお寄せください

真下紀子事務所 旭川市3条16丁目7号 TEL 0166-20-0808 FAX 0166-20-1616 m.noriko.office@gmail.com

